

出水速報



国土交通省 関東地方整備局
荒川上流河川事務所



本資料の数値等は速報値であるため、
今後の調査で変わる可能性があります。

平成29年7月4日からの 台風3号による出水状況等について

平成29年7月5日 21:00現在

第2報



国土交通省 関東地方整備局
荒川上流河川事務所





速報の更新概要

※ 更新箇所

■本報のトピック

○被害の状況（復旧）を追加

○事務所の体制は、7/5 21時に注意体制を解除

■更新履歴

掲載項目	1報	2報
降雨の状況	新規	変更なし
出水の状況	新規	変更なし
洪水予報の発表状況		
水防警報の発令状況		
調節池群による洪水調節の状況		
排水機場の運転状況	新規	変更なし
樋門・水門の操作状況	新規	変更なし
災害対策車両（排水ポンプ車など）の運用状況		
被害の状況	新規	更新
状況把握と事務所の体制		
その他		

新規：新しく情報が追加されたもの。

更新：前報から情報を更新したもの。

変更なし：前報から情報が変わっていないもの。

降雨の状況

7月4日～7月5日までの総降水量

期間内の総降水量分布図
(7月4日8時00分～7月5日8時00分)



平成29年7月4日から5日にかけて、台風第3号の通過に伴い、南から湿った空気が流れ込み、荒川上流河川事務所管内では一時的に非常に激しい雨が降った。

台風の接近に伴い、流域内の多いところでは7月5日8時までの24時間に飯能市吾野で116ミリ、比企郡小川町小川で114ミリ、入間郡越生町越生で97ミリ等を観測した。
(いずれも当事務所観測所)



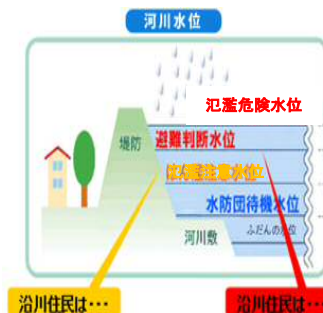
荒川上流部における出水の状況



凡例 ▲ 基準水位観測所 ● 雨量観測所
□ 水防団待機水位 □ 氾濫注意水位 □ 避難判断水位 □ 氾濫危険水位

■平成29年7月5日 3:00 までの最高水位 (※水位は速報値)

河川	観測所	生起日時 ※毎正時の値で記録	記録水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位
荒川	熊谷	7月5日 3:00	1.94 m	3.00m	3.50m	5.00m	5.50m
	治水橋	7月5日 2:00	4.20 m	7.00m	7.50m	12.10m	12.60m
入間川	小ヶ谷	7月4日 23:00	0.75 m	2.00m	2.50m	3.10m	3.50m
	菅間	7月5日 3:00	3.10 m	7.00m	8.00m	11.50m	12.00m
越辺川	入西	7月4日 22:00	0.71 m	2.00m	3.00m	3.00m	3.20m
小畔川	八幡橋	7月4日 22:00	2.63 m	3.00m	3.50m	3.60m	4.20m
都幾川	野本	7月5日 1:00	1.26 m	2.00m	3.50m	3.70m	4.10m
高麗川	坂戸	7月5日 2:00	0.29 m	1.00m	1.50m	2.40m	3.00m



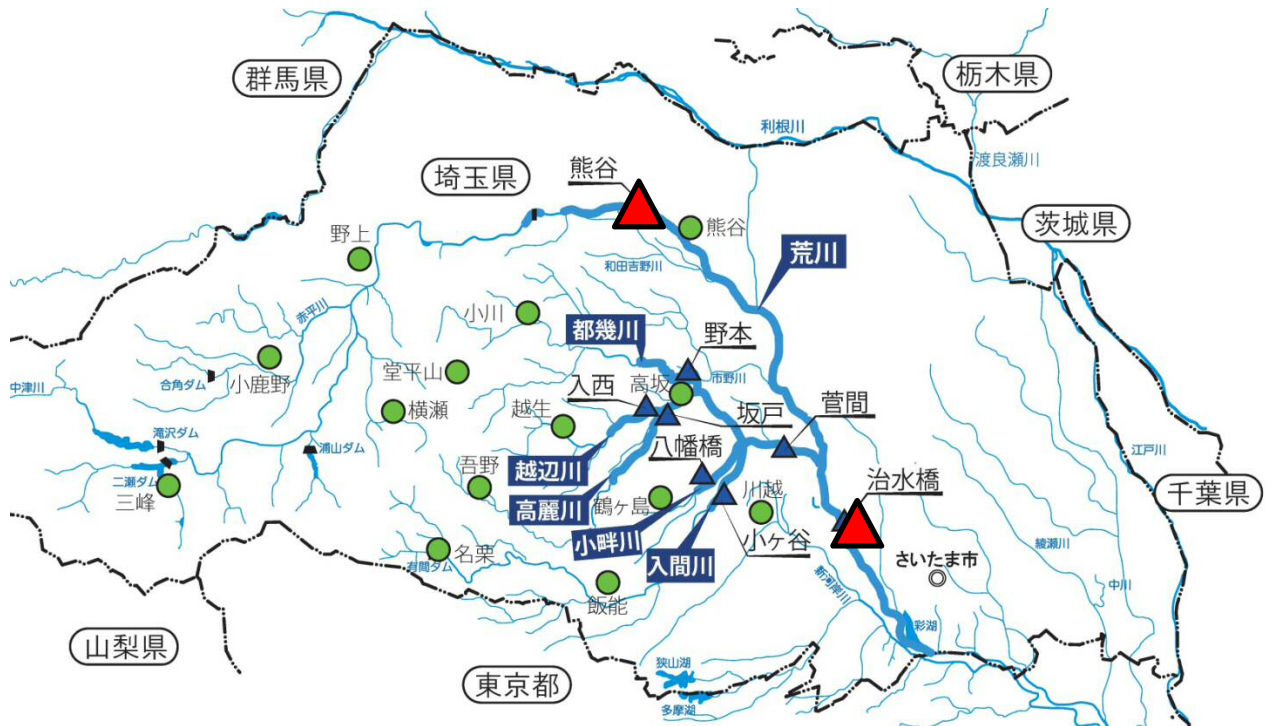
河川水位		沿川住民の方々は...
氾濫危険水位	重大な災害が発生するおそれがある水位	氾濫警戒情報が発表された場合、市町村長が発する避難情報に注意してください。また、避難勧告が出た場合は、水防団等の指示に従って速やかに避難してください。
避難判断水位	避難等の参考になる水位	
氾濫注意水位	水防団が出動する水位	氾濫注意情報が発表された場合、沿川住民は、いつでも避難できるよう、身支度や防災用品の準備をしてください。また、河川情報を常にキャッチしておくことも忘れずに。
水防団待機水位	水防団が準備を始める水位	

※比較が可能な昭和53年以降の同地点の水位における記録



出水の状況

※ 【今回の出水時】の画像は各観測所で最高水位を記録した日時に近い時刻のものであります。



平常時

今回の出水時

荒川
熊谷観測所

2017-07-04 16:59:43 荒川系 荒川 右岸 76.5k



2017-07-05 02:59:51 荒川系 荒川 左岸 76.5k



荒川
治水橋観測所

2017-07-04 16:56:49 荒川系 荒川 右岸 41.9k



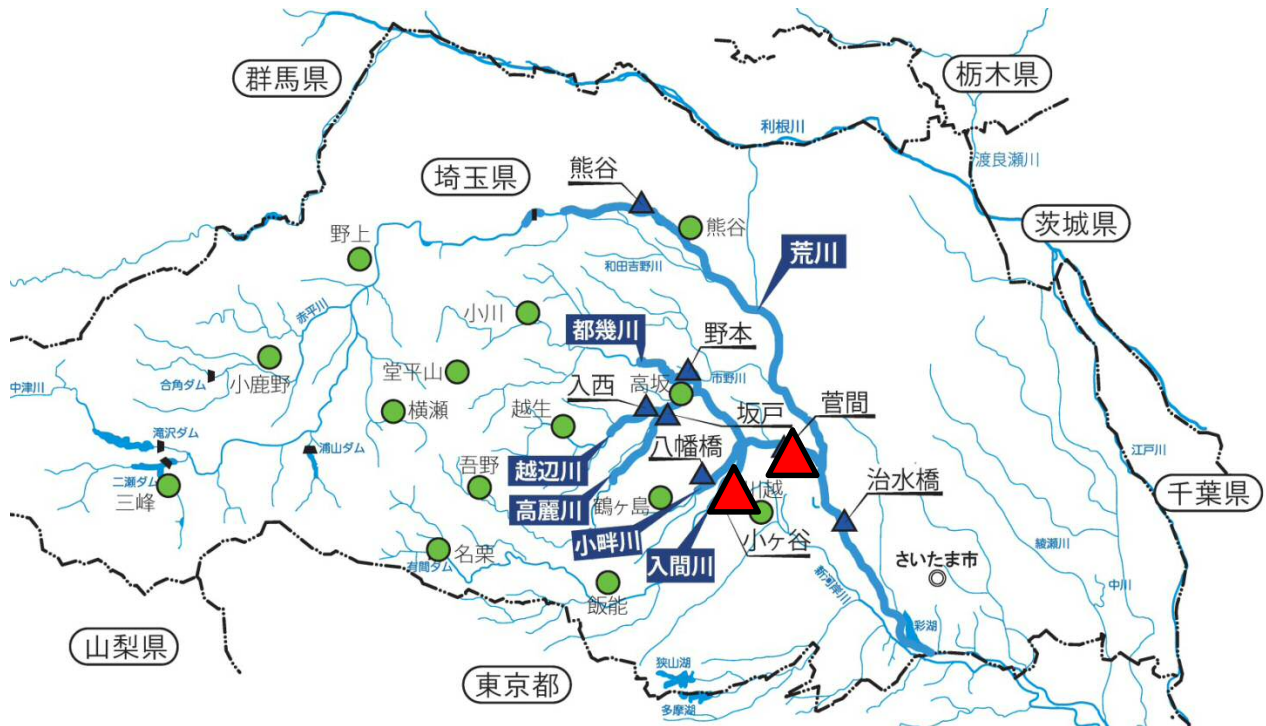
2017-07-05 01:56:52 荒川系 荒川 右岸 41.9k





出水の状況

※ 【今回の出水時】の画像は各観測所で最高水位を記録した日時に近い時刻のもです。



平常時

今回の出水時

入間川
小ヶ谷観測所



2017-07-05 00:37:18 荒川系 入間川 右岸14.5k



入間川
菅間観測所



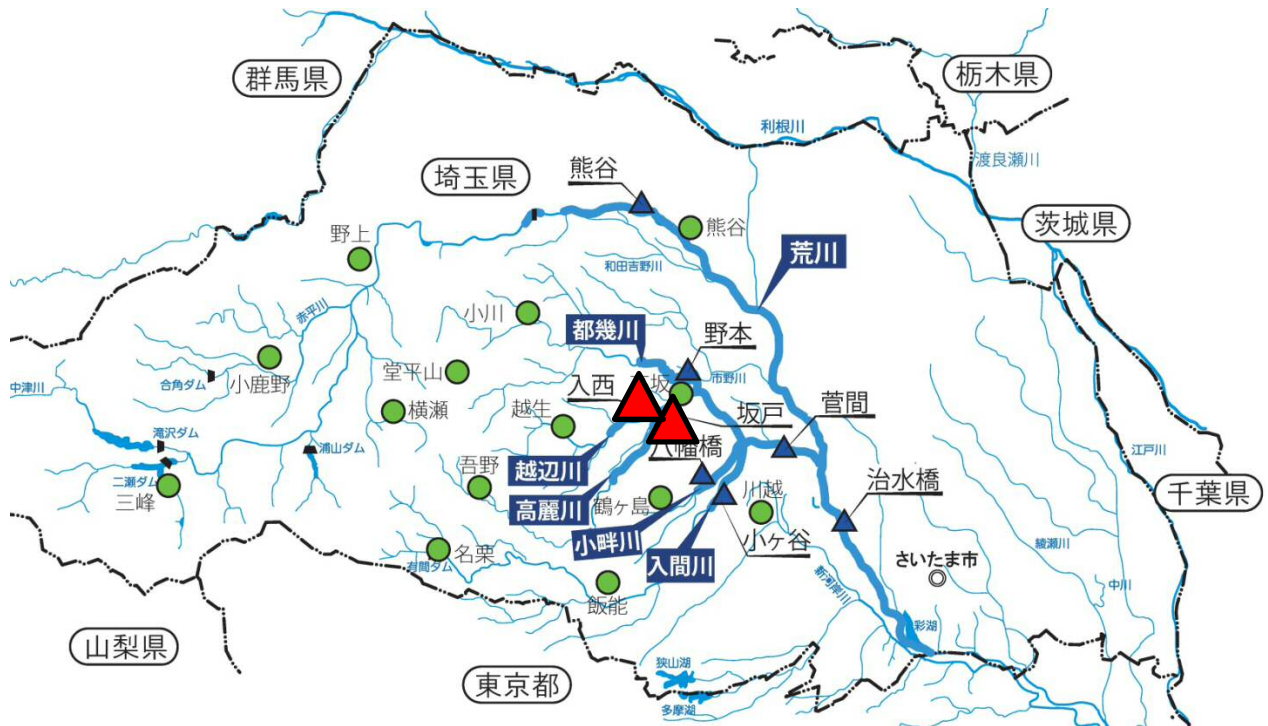
2017-07-05 02:57:50 荒川系 入間川 右岸 5.8k





出水の状況

※ 【今回の出水時】の画像は各観測所で最高水位を記録した日時に近い時刻のものです。



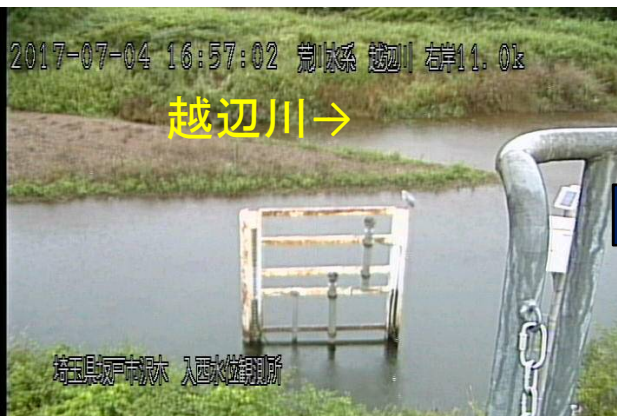
平常時

今回の出水時

小畔川
八幡橋観測所



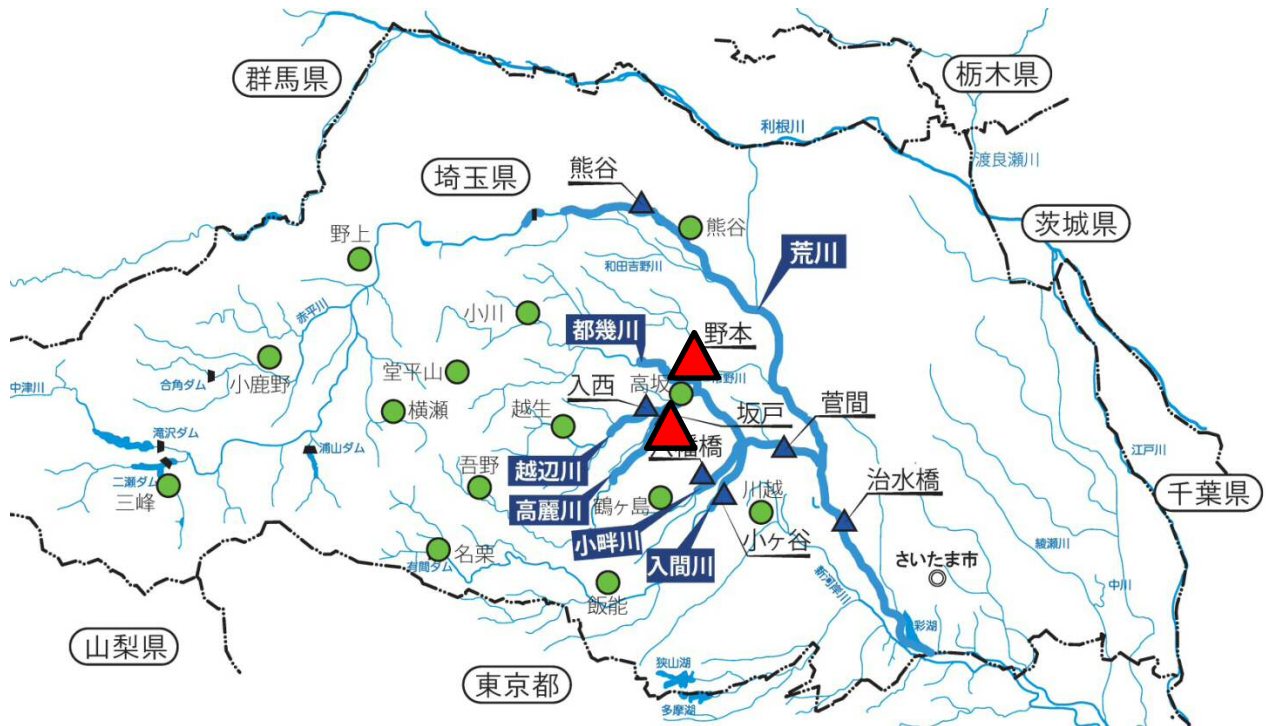
越辺川
入西観測所





出水の状況

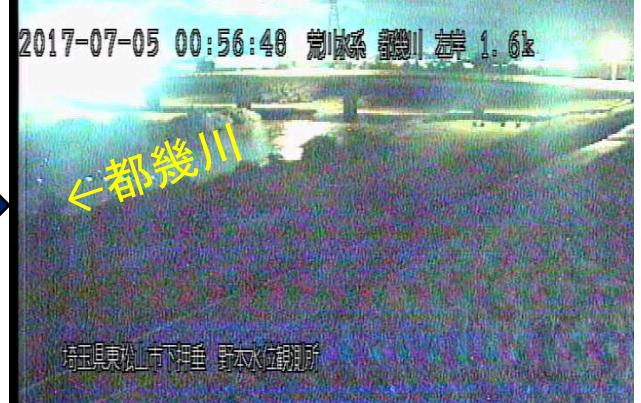
※ 【今回の出水時】の画像は各観測所で最高水位を記録した日時に近い時刻のものです。



平常時

今回の出水時

都幾川
野本観測所



高麗川
坂戸観測所



排水機場の運転状況

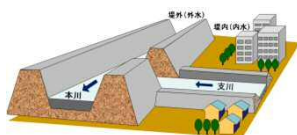
※ 更新箇所

■管内排水機場 稼働実績

排水機場 (排水経路) 排水能力	通殿川排水機場 (通殿川→和田吉野川) 5～15 (m ³ /s)	川島排水機場 (安堂川→入間川) 10～30 (m ³ /s)	南畑排水機場 (新河岸川→荒川) 30～60 (m ³ /s)
荒川の「排水機場」は、台風、集中豪雨などによる洪水から人々の生命と暮らしを守るための河川管理施設です。 洪水時において水門等は本川から支川への逆流を防止し、排水機場は支川に溜まった水を本川へ強制的に排水する施設です。	 昭和48年完成。平成12年ポンプ増設。 最大排水能力15m³/s 和田吉野川からの逆流を防ぎ、通殿川下流域に広がる農耕地の湛水被害を軽減しています。	 昭和56年完成。平成6年・13年ポンプ増設。 最大排水能力30m³/s 荒川及び入間川の外水の影響を防ぎ、川島地区の内水被害を軽減しています。	 昭和62年完成。 最大排水能力60m³/s 新河岸川の水を、新河岸川放水路・びん沼調節池を経て機場のポンプで荒川に強制的に排水し新河岸川流域の浸水被害を軽減しています。
運転状況	運転停止		
累計排水量	34,800m ³		
運転開始日時	7月4日23:26		
運転終了日時	7月5日1:13		

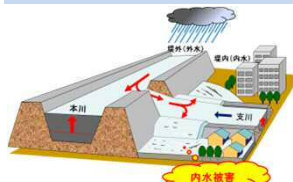
排水機場の役割

普段は・・・



平常時、堤内側の支川の水（内水）は本川に自然に流れ込んでいます。

大雨が降ると・・・



台風、集中豪雨などが発生した場合、本川には各支川の水が流れ込み、水位が高くなります。

本川の水位が上昇し支川へ逆流した水と支川流域に降った雨水は内水被害を引き起こします。

「排水機場」があれば・・・



そこで支川に溜まった水をポンプで吸い揚げ、本川に吐き出します。この働きにより内水被害が少なくなります。

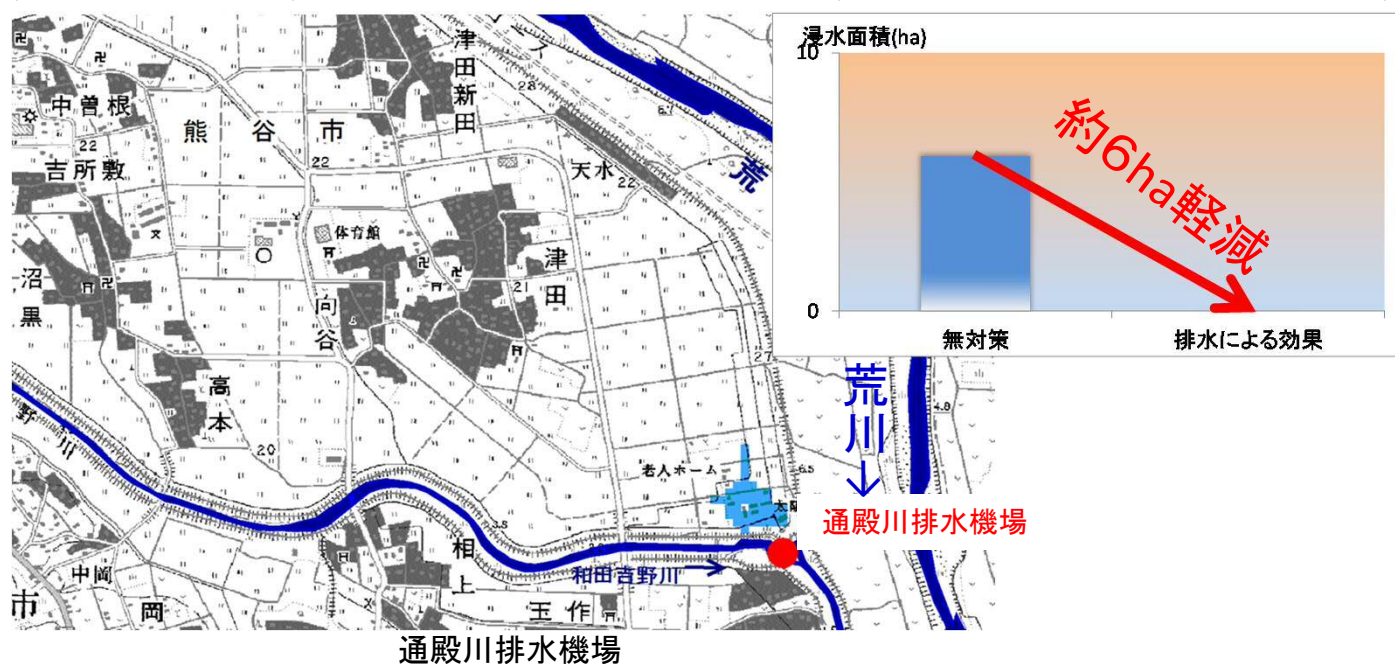


排水機場が浸水防止効果を発揮

■通殿川・川島排水機場の効果

今回の出水で稼働した排水機場は支川の内水による浸水を防止・抑制するために建設されたものです。仮に各排水機場がなかった場合には、以下のような浸水被害が発生したと予想されます。なお「今回の出水による浸水面積」は、当事務所で把握している範囲で記載しています。

排水機場	今回出水による浸水面積	水門が無かった場合の浸水面積
通殿川排水機場	—	約 6ha
川島排水機場	—	—



被害の状況

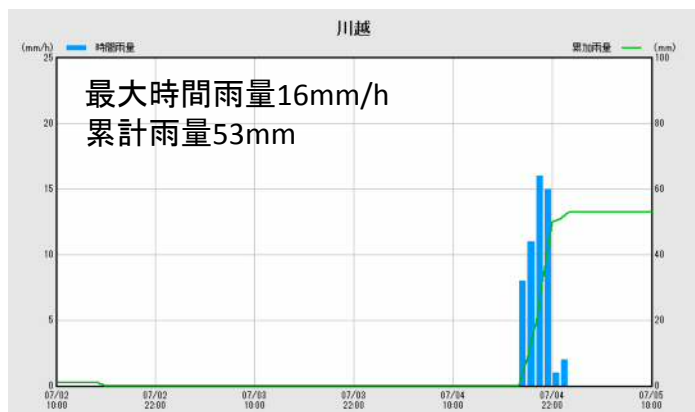
※ 更新箇所

■管内被災状況

平成29年7月5日（水曜日）8時25分頃に、台風第3号による降雨により、入間川右岸Ok付近（埼玉県川越市古谷本郷地先）の堤防川裏法面が崩れているのを確認しました。

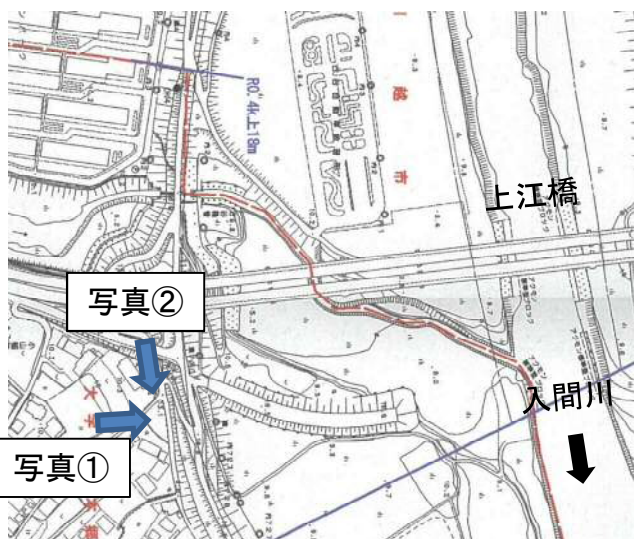
被害規模（延長：約8m、法長：約13m）

明日までに応急復旧を行う予定です。



国土交通省が川越市新宿町に設置している雨量計では、7月4日18時から24時までの間に53mmの雨量が観測されました。

最大時間雨量は20時から21時までの16mm/hでした。



写真①



写真②



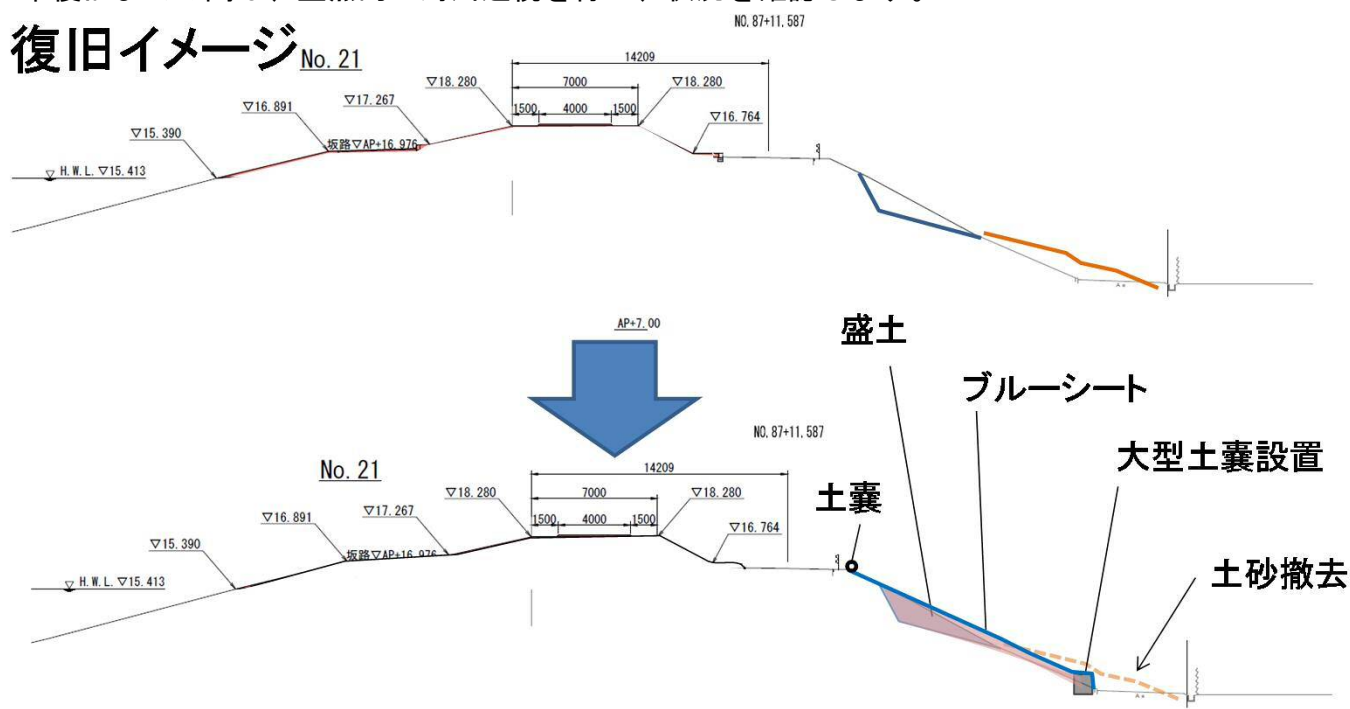
被害の状況(復旧)

※ 更新箇所

平成29年7月5日（水曜日）8時25分頃に確認された、入間川右岸0k付近（埼玉県川越市古谷本郷地先）の堤防川裏法面の法崩れは、同20時40分に、応急復旧を完了しました。

応急復旧では、大型土のうを設置し盛土を行うとともに、ブルーシートにて法面を保護しています。本復旧については、関係機関と調整のうえ速やかに実施する予定です。
本復旧までの間は、重点的に河川巡視を行い、状況を確認します。

復旧イメージ



応急復旧前



盛土施工完了時



応急復旧完了



応急復旧前



土砂撤去完了



応急復旧完了

